

《がん専門分野における質の高い看護師育成研修に参加して》

平成24年度修了 市立芦別病院 足立真紀子

私は、平成24年度「質の高い看護師育成研修」に参加しました。この研修で学んだことは、がん患者を支えるためには、身体・社会・心理・スピリチュアルという側面から捉える必要があります。全人的な関わりの重要性を学ぶことができました。

実際に実習先である病院でさらに多くのことを学びました。それはチーム医療の重要性です。患者は、がんという病と共に生活していかなくてはなりません。その中で患者が何を大切にし、どのような人生を歩んでいきたいのかという患者の目標に向かい、チームで情報を共有しチーム全体で患者・家族を支えることの重要性を学ばせていただきました。

現在は、北海道医療大学認定看護師センター、がん化学療法看護分野の研修生として同じ目標を持つ仲間と共に勉学に励んでいます。今まで行った看護・治療の根拠を学ぶことができ大変ですが充実した毎日を過ごしています。

認定看護師を目指すきっかけは、患者の意思決定を支える看護師になりたいと考えたことであり、その実現のため受験しました。これからも、患者・家族の支えとなり、チーム医療の調整役となるような看護師を目指していきたいと思います。

.....

《糖尿病専門分野における質の高い看護師育成研修に参加して》

平成24年度修了 北海道循環器病院 熊谷陽子

私は、生活指導の受け入れがスムーズでない糖尿病患者さんへ、どのように関わればよいか悩むことが多くあり、平成25年1月から6週間、「糖尿病専門分野における質の高い看護師育成研修」に参加させていただきました。北海道社会保険病院の糖尿病外来と内分泌の病棟で研修をさせていただき、最も勉強になったことは、心理学的変化ステージに沿った関わり方と、理論を用いた看護展開のためのツールを使用することで、期待される療養行動が得られるとわかったことです。今回の学びを得たことで、今まで関わった糖尿病患者さんに申し訳ない指導をしていたと感じました。そこで、患者さんと接する時間が特に短い外来で、誰もが短時間で効果的な関わりができるよう、患者さんの言葉によって心理学的変化ステージがわかるフローチャートと、ステージ毎の関わり方を表にしようとしています。また、知識を持って患者さんと関わられるよう、現在糖尿病療養指導士の資格をとるために勉強中です。専門的な知識はもちろんのこと、患者さんの心理状態を理解してこそ、患者さんをやる気にさせることができ、看護師としての役割を果たせるのだと学びました。研修で多くの学びを得ることができ、本当によかったです。